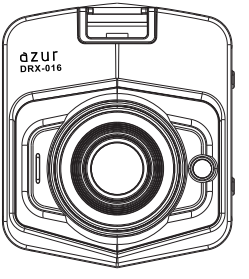
azur

ドライブレコーダー

DRX-016

取扱説明書



保証書別添付

この度は、ドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

●「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受取りください。

目次

はじめに

■安全上のご注意（必ずお守りください）…… 1
■使用上のご注意（必ずお守りください）…… 4
■商品構成一覧表 …… 6
■各部の名称と働き …… 7

準備

■本体の取り付け …… 9
■microSDカードについて …… 12
■電源オン/オフについて …… 14

操作方法

■録画について …… 15
■動画記録モード …… 17
■静止画撮影モード …… 21
■再生モード …… 24
■パソコンによる記録ファイルの読み出し …… 26
■録画時間について …… 27
■トラブルシューティング …… 28
■仕様 …… 29

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

⚠	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
⚠	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
⃠	禁止	絶対にしてはいけない事項
❗	強制	必ず守るべき事項

⚠ 警告

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

❗ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。（ヒューズ：2A）

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

⃠ 運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

⃠ ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

⃠ 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

❗ 車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザート、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

❗ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12V−24Vマイナスアース車で使用する

DC12V−24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 を外しておく

バッテリーのマイナス端子 を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車載用以外には使用しない

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドア等）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

雨や洗車などで水がかかったり、湿気ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない

本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

使用上のご注意（必ずお守りください）

●本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
●本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
●記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
●本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
●本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠ 注意

取付中は中エンジンを切る

⚠ 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

⚠ トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする

⚠ 車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります

⚠ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

microSDカード容量超えを注意する

⚠ 本機は8GBのmicroSDカードを付属しています。緊急録画で記録された動画は上書きされないので、カードの容量を超えることがあります。

シガーアダプターについて

⚠ 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。

シガーアダプターについて

⚠ シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲（12V/24V）を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガー電源アダプターや本機故障の原因になることがあります。

使用上のご注意（必ずお守りください）

取付ステーの使用について

⚠ 付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバックなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。

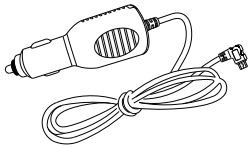
取付ステーの使用について

⚠ ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。ほこり・異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する恐れがあります。

商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。

■ドライブレコーダー本体



■シガーアダプター

■microSDカード 8GB（本体に装着）

■取付ステー

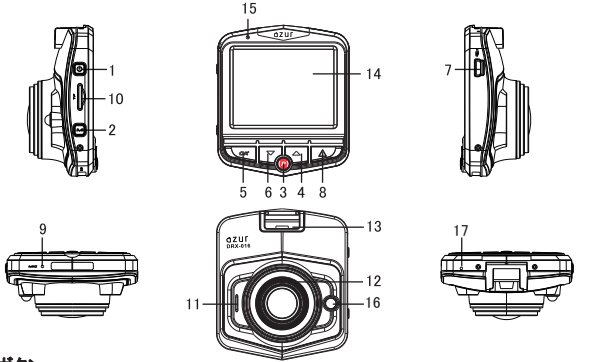
■USBケーブル

■保証書

■取扱説明書

※はじめから破損していたり、付属品が不足している場合には、ご購入店にお問い合わせください。

各部の名称と働き



1.電源ボタン
長押しすると、電源がオンになります；電源オンの状態で長押しすると電源がオフになります。

2.MENUボタン（メニューボタン）
一回押すと、各モードの設定メニューを表示します。
もう一回「MENU」ボタンを押すと、もとのモードに戻ります。
※録画中はMENUボタンが動作しません。録画を停止してから動作します。

3.駐車監視ボタン
動画記録モードで、このボタンを押すたびに、駐車監視機能をオン/オフに切り替えます。
オンに設定する時、画面の上に「P」の文字が出ます。オフに設定する時、画面は「 P 」です。
※駐車監視機能は本体電源オフ状態のみ作動します。

4.カーソル（▲）
カーソルの移動 。

5.OKボタン（確認ボタン）
設定メニュー：項目や設定値を決定します。
動画記録モード：録画開始/停止します。
静止画撮影モード：静止画を撮影します。
再生モード：動画を再生/停止します。

各部の名称と働き（つづき）

6.カーソル(▼)/マイクオン・オフボタン
カーソルの移動。
マイク オン/オフ切替ます。

7.miniUSB端子
付属のシガーアダプターと接続します。

8.MODEボタン/(⚠)ボタン
録画停止中、このボタンを押すと、各モードを切り替えます。

:動画記録モード　:静止画撮影モード　:再生モード

録画中押すと、緊急録画を開始します。

9.マイク

10.microSDカード挿入口

11.スピーカー

12.レンズ

ご注意：
工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

13.ジョイントレール

14.液晶モニター

15.動作ランプ
本機動作状況を表示します。

16.赤外線ライト

17.リセットスイッチ
本体が正しく動作しなくなった時に押してください。

ご注意：
リセットすると、強制的に再起動します。

本体の取り付け

取付ステーを使って、車に本体を取り付けます。

ご注意

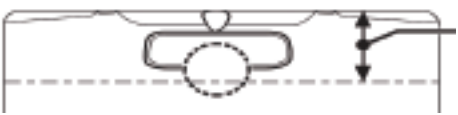
本機を車に取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

●道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けください。
●車に取り付ける際には、運転に支障となる場所には取り付けないでください。
●視界の妨げにならないように取り付けてください。
●フロントガラスの上部20%の範囲以内に取り付けてください。
●同梱品の取付ステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。
●同梱品のシガーアダプター以外の物を使用しないでください。
●ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
●車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
●本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。
●ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時など鮮明に記録できます。
●シートベルトやエアバックなどの安全装置の動きを妨げ場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

推奨取り付け位置（参考）

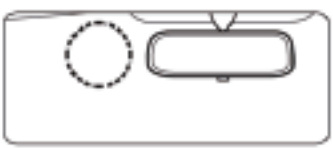
取り付け位置（正面）

1.ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の映像を録画できます。



2.ルームミラーの後部、フロントガラスの中央部に設置できない場合は、ルームミラーの左、もしくは右側にも設置することができます。

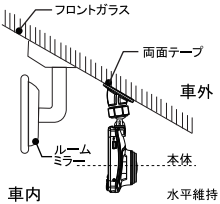
※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります。



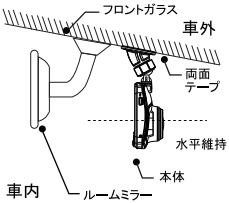
本体の取り付け（つづき）

取り付け位置（側面図）

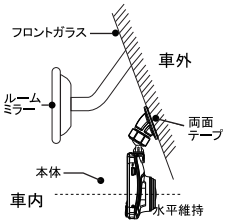
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



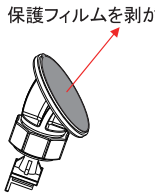
■ ワンボックスやトラックなど



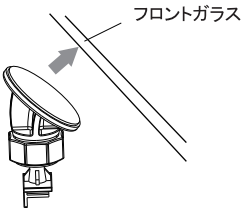
※図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
※本機が取り付いた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと正しい状態で録画できません。

取り付け方法

1. 取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油などをきれいに取り除いでください。



2.ステーの両面テープから保護フィルムを剥がして、フロントガラスに取り付けてください。



※固定力を強くするために、本体を取付後24時間以上放置してから使用してください。
※張り直しはテープの粘着が弱まり、脱落する恐れがあります。

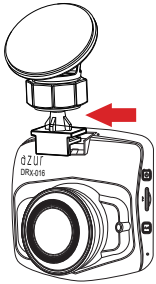
本体の取り付け（つづき）

3.本体のジョイントレールをステーに合わせて、矢印の方向に本体をスライドして装着します。

※取り付けステーのジョイント部の向きに注意して、奥まで確実に装着してください。確実に装着していないと、走行中に落下する恐れがあります。

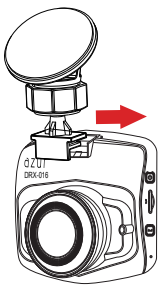
4.車の進行方向にレンズの角度を調整します。

※取り付けステーのジョイント部に無理に力を入れないでください、破損することがあります。



取り外し方法

ステーから取り外す時には、本体を矢印の方向にスライドしてください。



microSDカードについて

ご注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用してください。

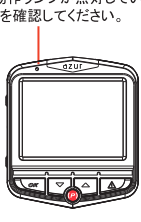
●付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
●microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
●本体の電源が入った状態で、microSDカードを抜き差しをしないでください。
microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
●microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガーアダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。
必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから、microSDカードを取り出してください。
※動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと、ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。
●microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。
●市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
●本機は、8GB～32GB（Class6以上、Class10まで）のmicroSDカードに対応しています。
全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
●UHS-I規格の製品は、Class10互換を謳っていても動作しない場合があります。
また、UHS-IIやU3規格の製品は対応していませんので、カードご購入に際しては互換性にご注意ください。

microSDカードの抜き差し

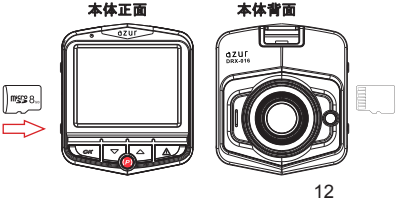
1. microSDカードを抜き差しする時は、必ず電源を入っていないことを確認してください。

※本体作動中、microSDカードを抜き差しすると、データの破損や本体の故障になる恐れがあります。

本機動作ランプが点灯していないことを確認してください。



2. microSDカードの 向きを確認してスロットに差し込んでください。



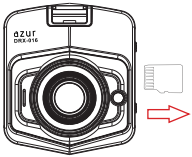
microSDカードについて（つづき）

3.　microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

4.　microSDカードを抜き出す時は、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

※microSDカードを抜き出す前に、必ず本体の電源をOFFにしてください。
※microSDカードを抜き出す際、飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。
※事故発生時に記録された映像データが壊れないように、必ず本体の電源をオフにしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。



microSDカードのフォーマット

本製品には8GBのmicroSDカードが付属しております。
初めてご使用する時、或いは保護ファイルによりカード容量がいっぱいになる時、下記の手順よりmicroSDカードをフォーマットしてください。
※フォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください。

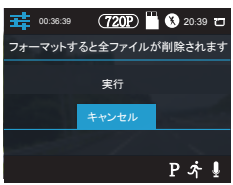
1.microSDカードが本体に装着されていることを確認してください。

2.本体の電源を入れてください。

3. 録画停止中、「MENU」ボタンを押して設定メニューに入ります。

4. 「フォーマット」を選択し、「OK」ボタンで決定します。

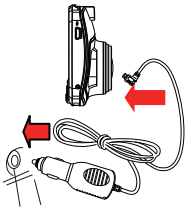
「実行」を選択し、「OK」ボタンでフォーマットを実行してください。



電源オン/オフについて

電源オン

エンジンをかけ、シガーソケットに通電されると自動的に電源がオンになります。（電源がオンになると自動的に録画が始まります。）
手動で電源のオン/オフを切り替えるには、本体の電源ボタンを2秒程度長押しします。



シガーソケット

電源オフ

エンジンを切り、本体に電源供給がされない状態が5秒続くと、自動的に電源がオフになります。

オートオフ

内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中または設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。

録画について

録画の種類

録画の方法：ループ録画と緊急録画

●ループ録画（常時録画）
本機の設定により、1分間/2分間/3分間のループで録画します。
常時録画時は、1分間/2分間/3分間単位で続けて録画します。microSDカードの容量を超えると、古いファイルから順番に上書きされます。

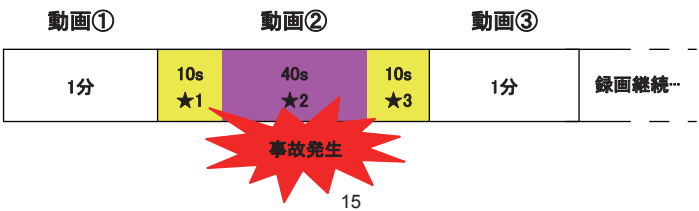
1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続…

●緊急録画

1.緊急録画とは
録画中緊急録画ボタン[⚠]を押す、あるいは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を感知すると、緊急モードで録画開始します。
緊急録画を開始すると、本機液晶右上に「🔑」マークが表示されます。

2.緊急録画形式
緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が違います。

（例）
※常時録画ファイル構成を「1分間」に設定時、動画①→②→③・・・録画し続けます。
※動画②で事故発生時、緊急録画が開始します。
※★は緊急録画の開始時点。



録画について(つづき)

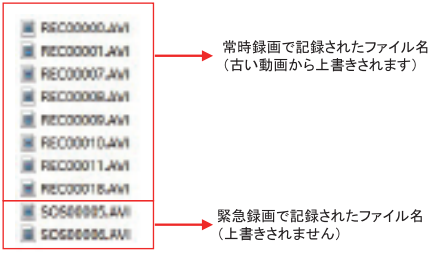
★1:動画②の最初から10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。

★2:動画②の最初・最後10秒以外に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。

★3:動画②の最後10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

3.緊急モードで記録されたビデオは上書きされません。

※記録されたデータ例



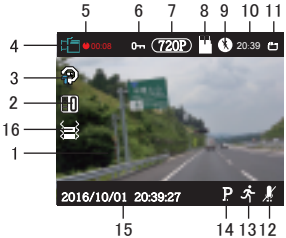
4.緊急録画完了後、本機液晶右上の「 」マークが消えて、常時録画に戻ります。

ご注意

●緊急とは、衝撃を検知した場合という意味です。
●Gセンサーがソフト(高感度)に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。
センサー感度がハード(低感度)に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
●microSDカードの容量を超えた場合、古い映像データから順次に上書きされます。
●緊急録画で記録されたファイルは上書きされません。緊急録画が多くmicroSDカードの容量を超えた場合、録画ができません。保存する必要があるファイルをパソコンにコピーしてから、microSDカードをフォーマットしてください。
●常時録画と緊急録画モードで記録されたファイル名は異なります、取扱にご注意ください。

動画記録モード

動画記録画面



1.液晶モニター

2.露出補正アイコン

3.ループ録画モードアイコン
1分間/2分間/3分間を表示します。

4.モードアイコン
動画記録モードのアイコンを表示します。

5.録画中アイコン
録画中点滅して、同時に、録画時間を表示します。

6.緊急録画中アイコン

7.解像度アイコン
映像記録の解像度を表示します。

8. microSDカードアイコン
microSDカードの状態を表示します。

挿入時: 未挿入時:

9.赤外線ライト
オンに設定する時:「 」マークが表示します。
オフに設定する時:「 」マークが表示します。

10.日付プリント
本機に設定された時刻を表示します。

11.電源アイコン
通電中は点滅します。

12.音声録音アイコン
Voice Recordの状態を表示します。

オン時: オフ時:

動画記録モード（つづき）

13.動体検知アイコン
Motion Detectをオンに設定する時に表示します。
Motion Detect機能をオンにすると、録画停止中、動体検知すると自動的に録画を開始します。録画してから10秒後、自動的に録画が停止します。
※引き続き動態を検知している場合は録画をし続けます。

14.駐車監視アイコン
駐車監視機能のオン/オフを表示します。
オン時：「 P 」
オフ時：「 R 」

15.日付・時刻
本機に設定された日付と時刻を表示します。

16.G-Sensitivityアイコン
G-Sensitivityの状態を表示します。バーが3つの場合最高感度です。

動画記録モードの設定

録画停止中、本体の「MENU」ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。

動画記録モード（つづき）

項目	設定内容	説明
解像度	720P（▲）	録画ファイルの解像度を1280×720に選択します。
	WVGA	録画ファイルの解像度を800×480に選択します。
ループ録画	1 分（▲）	記録動画ファイルのループ記録時間を設定します。
	2 分	
	3 分	
露出補正	0（▲）	数値-3、-2、-1、0、1、2、3の露出補正を設定します。
Motion Detect ※1	□（▲）	動体検知機能を使用するかどうかを設定します。 ※動体検知機能は本機の動画記録モードしか使用できません。 ※動体検知機能は本機に電源を入れて、動画記録モードでのスタンバイ状態のみ使用できます。 ※動体検知機能は起動してから10秒間録画します。10秒以内に続けて動体検知できなければ録画停止になります。
	☑	
Voice Record	□	映像だけを記録します。音声を同時に記録しません。
	☑（▲）	映像と同時に音声も記録します。
駐車モード	□（▲）	駐車中、本体の電源がオフの状態で衝撃を感知すると、自動的に電源がオンになり録画を開始します。
	☑	
日付プリント	□	動画に設定された日付や時刻を記録するかどうかを設定します。
	☑（▲）	
G-Sensitivity	オフ	G-Sensorの感度を選択します。 ※「ハード」に設定すると、強い衝撃だけに反応します。
	ソフト	
	ノーマル(▲)	
	ハード	

▲は工場出荷設定値です。

※1 エンジンOFF時に本機能を動作させる場合は、長時間録画用のバッテリー接続ケーブル「DRC-3」(別売)をお求めください。

動画記録モード（つづき）

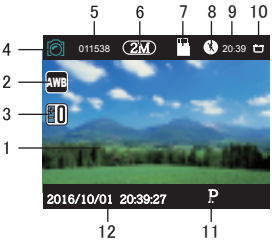
項目	設定内容	説明
ボタン音	□ ☑（▲）	ボタンの操作音を設定します。
日付/時刻	---	初期設定値は2016/07/01 「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▼」ボタンで、日時の数字をダウンします。 「OK」ボタンで、設定した項目を保存します。カーソルが自動的に次の項目に移動します。
Auto off	オフ(▲) 30秒 1分 2分	内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中または設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
表示言語	簡体字中国語 繁体字中国語 English 日本語(▲)	本機メニュー表示言語を選択します。
フリッカレス	50Hz(▲) 60Hz	東日本地域は50Hzに設定してください。 西日本地域は60Hzに設定してください。 ※記録撮影時にLED信号灯等のちらつきを防止し録画します。
赤外線ライト	オフ(▲) オン Auto	夜間撮影時の赤外線ライトによる補助を設定します。
液晶OFF	オフ(▲) 10秒 30秒 1分	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をOFFします。
フォーマット	実行 キャンセル(▲)	microSDカードのフォーマットを行います。 ※microSDをフォーマットする前に、重要なデータをPCでバックアップしてください。
初期化	実行 キャンセル(▲)	すべての設定を工場出荷設定値に戻します。
バージョン	---	本機のバージョンを表示します。

▲は工場出荷設定値です。

静止画撮影モード

静止画撮影画面

録画停止中に「MODE」ボタンを押すと、静止画撮影モードに入ります。
液晶モニターで被写体を確認してから、「OK」ボタンを押すと、撮影します。



1.液晶モニター
被写体を表示します。

2.ホワイトバランスアイコン

3.露出補正アイコン

4.モードアイコン
静止画撮影モードのアイコンを表示します。

5.撮影枚数アイコン
撮影可能枚数を表示します。

6.解像度アイコン
静止画の解像度を表示します。

7. microSDカードアイコン
microSDカードの状態を表示します。

挿入時: 未挿入時:

8.赤外線ライト
オン時:「 ⚡ 」マークが表示します。
オフ時:「 ⚡̸ 」マークが表示します。

9.日付プリントアイコン
画像に設定された日付や時刻を表示するかどうかを設定します。

10.電源アイコン
通電中は点滅します。

11.駐車監視アイコン
駐車監視機能のオン/オフを表示します。
オン時:「 P 」
オフ時:「 P̸ 」

12.日付・時刻
本機に設定された日付と時刻を表示します。

静止画撮影モード（つづき）

静止画撮影モードの設定

静止画撮影モードで、「MENU」ボタンを押すと、静止画撮影モードの設定メニューが表示されます。

項目	設定内容	説明
解像度	2M（▲）	静止画ファイルの解像度を1920x1080に選択します。
	1.5M	静止画ファイルの解像度を1600x912に選択します。
	1M	静止画ファイルの解像度を1280x720に選択します。
ホワイトバランス	Auto（▲）	Auto、晴天、曇天、タングステン、蛍光灯
露出補正	0（▲）	数値3、2、1、0、−1、−2、−3の露出補正を設定します。
日付プリント	□	画像に設定された日付や時刻を表示するかどうかを設定します。
	☑（▲）	
ボタン音	□	ボタンの操作音を設定します。
	☑（▲）	

▲は工場出荷設定値です。

静止画撮影モード（つづき）

項目	設定内容	説明
日付/時刻	---	初期設定値は2016/07/01 「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▼」ボタンで、日時の数字をダウンします。 「OK」ボタンで、設定した項目を保存します。カーソルが自動的に次の項目に移動します。
Auto off	オフ(▲)	内蔵バッテリーで動作する場合、設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
	30秒	
	1分	
	2分	
表示言語	簡体字中国語	本機メニュー表示言語を選択します。
	繁体字中国語	
	English	
	日本語(▲)	
赤外線ライト	オフ(▲)	夜間撮影時の赤外線ライトによる補助を設定します。
	オン	
	Auto	
液晶OFF	オフ(▲)	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をオフします。
	10秒	
	30秒	
	1分	
フォーマット	実行	microSDカードのフォーマットを行います。 ※microSDをフォーマットする前に、重要なデータをPCでバックアップしてください。
	キャンセル(▲)	
初期化	実行	すべての設定を工場出荷設定値に戻します。
	キャンセル(▲)	
バージョン	---	本機のバージョンを表示します。

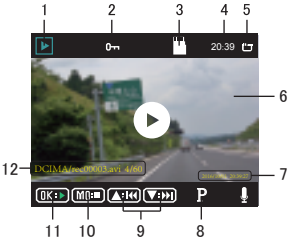
▲は工場出荷設定値です。

再生モード

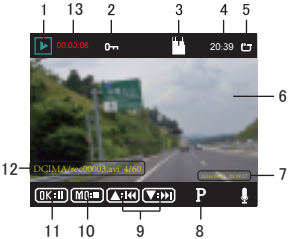
本機の再生モード画面

静止画撮影モードで「MODE」ボタンを押すと、再生モードに入ります。
再生モードで、記録された動画/静止画ファイルが確認できます。

再生モード画面



記録ファイル再生/表示中の画面



1.モードアイコン
動画/静止画を表示します。

2. 保護のアイコン
保護されたファイルのみ表示します。

3.microSDカードアイコン

4.日付プリントアイコン
本機に設定された時刻を表示します。

5.電源アイコン
通電中は点滅します。

6.液晶モニター

7.日付・時刻
動画や静止画を撮た時の日付と時刻を表示します。

8.駐車監視アイコン
駐車監視機能のオン/オフを表示します。

9.ファイル切り替えアイコン
カーソルボタンで前/次のファイルに切り替えます。
※動画再生中にカーソルボタンを押すことにより、2倍、4倍で早戻しと早送りができます。

10.中止アイコン
動画再生中に「 ⚠ 」ボタンを押すと、再生を中止します。

11.再生/一時停止状態表示

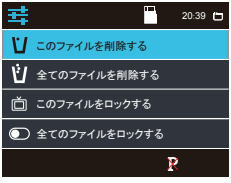
12.ファイル名/ファイル数
動画や静止画のファイル名とファイル数を表示します。

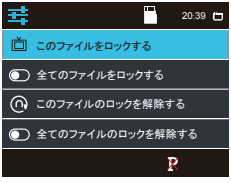
13.再生時間
再生している動画の進行時間を表示します。

再生モード（つづき）

再生モードの設定

再生モードで、本機の「MENU」ボタンを一回押すと、再生モードの設定メニュー画面が表示されます。





項目	設定内容	説明
削除	このファイルを削除する	選択されたファイル/全ファイルを削除します。
	全てのファイルを削除する	
保護	このファイルをロックする	選択されたファイル/全ファイルをロックします。 ※保護できるファイルは動画ファイルのみです。
	全てのファイルをロックする	
保護解除	このファイルのロックを解除する	選択されたファイル/全ファイルのロックを解除します。
	全てのファイルのロックを解除する	

▲は工場出荷設定値です。

パソコンによる記録ファイルの読み出し

本機に記録されたファイルをパソコンで読み出すことができます。

※対応OS：Windows XP/7/8/10

※すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※パソコンの処理能力により、お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、出しく動作しない場合があります。

microSDカードをパソコンと接続する

1.本機の電源をオフにしてください。
※電源オンの状態でmicroSDカードを取り出すと本機とファイル破損の恐れがあります。

2.microSDカードを取り出し、カードリーダー等を使用してパソコンと接続してください。
※microSDカードのカードリーダーは付属しておりません。
※microSDカードは大切に保管してください。再度本機を使う前に、microSDカードを本機に挿入してください。

3.パソコン上でmicroSDカードを開き、「DCIMA」フォルダを開きます。

4.再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。
本製品で記録された動画をWin8/10で再生する時、PC/OSの性能によりスムーズに再生できない場合があります。その際は「VLC media player」での動画再生を推奨いたします。
※「VLC media player」というキーワードで検索し、ダウンロードが可能です。

本体を直接パソコンと接続する

本機を直接パソコンに接続することができます。

1.USBケーブルで本機とパソコンを接続してください。自動的に録画モードに入ります。約1秒後、下記の画面に入ります。

2.本機の「OK」ボタンで「Storage」を選択すると、自動的に外部ストレージを開きます。「DCIMA」フォルダーを開いてください。

3.再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生してください。

本製品で記録された動画をWin8/10で再生する時、PC/OSの性能によりスムーズに再生できない場合があります。その際は「VLC media player」での動画再生を推奨いたします。
※「VLC media player」というキーワードで検索し、ダウンロードが可能です

録画時間について

本機に使用するmicroSDカードにより、記録時間が異なります。

microSD カード容量	記録時間	
	WVGA(800×480)	720P(1280×720)
8GB	約100分	約60分
16GB	約230分	約130分
32GB	約480分	約280分

●本機は8GB以上、32GB以下のmicroSDカードに対応します。
●「Class6～Class10」のmicroSDカードを使用してください。
●上記記録時間は目安であり、保証値ではありません。
●被写体や周囲環境により、記録可能な時間と件数が変化することがあります。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	●本機の電源はオンになっていますか？ ●シガーアダプターは外れていませんか？ ●ヒューズが切れていませんか？	●本機の電源をオンにしてください。 ●シガーアダプターを差し込んでください。 ●ヒューズを交換してください。(2A)
誤作動をする	ー	●本機のリセットボタンを押してください。 ●本機を再起動してください。 ●再起動とリセットしても直らない場合は、電源をオフにして、挿入しているmicroSDカードの中のデータをバックアップしてから、フォーマットして使用してください。 ●工場出荷設定に戻してください。
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です、不良ではありません。(有効画像数99.99%以上)	ー
録画できない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？ ●microSDカードの容量を超えていませんか？ ●microSDカードエラーが発生していませんか？ ●動画記録モードに切り替えましたか?	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。 ●「SDカードがいっぱい！」が表記される場合は、電源をオフして、microSDカード内のデータをバックアップした後、フォーマットを行ってください。 ●対応しているmicroSDカードに交換してください。 ●動画記録モードに切り替えてください。

仕様

型番	DRX-016
商品名	ドライブレコーダー
ディスプレ	2.31インチカラー液晶
レンズ	100万画素カラーCMOS
カメラ画角	水平:約83°　垂直:約46°　対角:約100°
フレームレート	27fps
録画ファイル単位	1分/2分/3分
動画解像度	720P(1280×720)
	WVGA(800×480)
静止画解像度	2MHD(1920×1080)
	1.5M(1600×912)
	1M(1280×720)
動体検知	オン/オフ設定可能
音声録音	オン/オフ設定可能
Gセンサー(衝撃検知)	内蔵
映像フォーマット	AVI
画像フォーマット	JPEG
電源	DC12V-24V
消費電力	2W
本体寸法(mm)	約63(W)×72(H)×33(D)(突起物除く)
本体重量	約58g(microSDカード含む)
保存温度	-10℃～60℃
動作温度	0℃～50℃
付属品	シガーアダプター(約4m)×1
	USBケーブル×1
	取付ステー×1
	microSDカード(8GB×1)
	取扱説明書×1・保証書×1

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。
※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

azur

輸入元:株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…048-970-5027

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00　13:00~17:00

http://www.innovativesale.co.jp/

2017.03